

## 歯の健康と児童虐待

**Q** 早期発見につながる研究会の取組内容等は。

**A** 過去にあった研修では、児童虐待の現状や、虐待の早期発見・対応に必要なこと等についての説明がありました。中でも、児童の一時保護施設に派遣された歯科医師による口腔ケア支援において「虐待を受けていた児童の口腔内環境はよくないことが多い」「子供の口の中の状況からも虐待の兆候が見て取れる」等の指摘は、虐待にいち早く気づき支援につながる大事な観点になることを学びました。

## 学校再編の準備委員会

**Q** 構成する委員や協議の内容は。

**A** 委員は14人を予定し、その他に学校関係者を含めて構成します。年5回の会議を開催する中で「通学の安全」「制服や体操着」「PTAの在り方」など、新校の開校に向けて準備を進めていきます。

## 町独自の学力検査

**Q** 以前から国や県が実施する学力検査に参加している。改めて町独自の学力検査を行う理由は。

**A** 国や県が実施する検査は、前年度の学年における学習内容を検査（4月実施）するもので、結果が出るのは7月頃になります。一方、町で行う検査は1月頃を予定し、当該年度の状況を確認するもので、検査結果をもとに補充授業を実施したり、学びの定着を確認したりと「学力の向上」に生かしていきたいと考えています。

## 山城跡の整備と活用

**Q** 腰越・青山・四ツ山の各山城跡の保存会が合同研修を行った。今後、町として山城跡の整備や保存会への支援について考えは。

**A** 腰越山城跡については、令和4年度に散策ルート上の階段を整備しました。また、山頂付近の支障木の伐採は、町職員で行っています。四ツ山城跡も、令和3年度から5か年計画で整備を進めています。各保存会員の高齢化等の状況もあるので、支援については検討していきます。

## 令和5年度特別会計予算

## コロナ禍を乗り越えて動き出す ポストコロナ元年の介護と医療

**Q** 令和5年度における「国保会計」の保険給付費等の動向・見込みは。

**A** 令和4年度は、コロナ禍の状況に伴い受診控えから転じて、通院や入院が増えてきた傾向にあり



新型コロナウイルス感染症の拡大で、開催されなかった認知症カフェ。久しぶりに小川町社会福祉協議会により開設された。



小川町社会福祉協議会HP

## 若者の参加

若者の参加

青山城跡の草刈りを始めて50年以上になります。山歩きの人が増え、山道の伐採も始まりました。若い人の参加を待っています。  
吉原喜一郎さん  
(青下畑中)



進級したての東中3年1組の皆さん。いよいよ「受験生」として進路に向けた闘いが始まります。志は高く！さらなる飛躍を！健闘を祈ります。



全国学力・学習状況調査 市町村別結果

## コロナ禍の認知症カフェ

**Q** 減少した理由は。

**A** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前、町内の医療機関及び介護事業所における「認知症カフェ」が3か所、開設されていた。令和5年度の再開見込みについて3つの事業所に確認をしたところ、2つの事業所より「再開は難しい」との回答を受けました。結果、補助金の金額を減額しました。令和5年1月より、小川町社会福祉協議会が認知症カフェを開設しました。令和5年度についても、新たな事業所を開拓して認知症カフェを開設していただけるよう検討していきます。

## 小川町合併70周年記念

**Q** 形式的な式典にとどまらず、中学生などの若い力やアイデアを生かし工夫を凝らした展開を期待するが。

**A** 記念式典は「実行委員会」において、若い世代をはじめ、あらゆる世代の皆さんとともに作り上げ、祝えるように進めていきます。

## 出産育児一時金の増額

**Q** 減額予算となっているが。

**A** 支給額がこれまでの42万円から50万円に増額となりましたが、出産の見込み数を過去の実績・推移から想定し、前年度比で4人減の「7人分」を見込みました。町全体での出生数が減少している中で、さらにそのうちの国保被保険者に絞られること、社会保険適用の拡大等も背景となり、当該予算は減額傾向にあります。

## 後期高齢者医療保険の動向

**Q** 被保険者の増加や今後の運営について見解を。

**A** 団塊世代の75歳到達が始まり、今後10年間は毎年500人以上が国保等から移行してきます。保険料を上げないためには医療費の抑制が欠かせません。その対策の1つとして、町民・長生き支援・健康福祉の3課で連携し「保健事業と介護予防」の「一体的実施事業」を開始しています。また、健康診査の周知・啓発を図り、健康寿命の延伸につながる取組を引き続き推進していきます。